

(14) 平成15年(2003)2月28日 大谷大学図書館報(第20号)

写真で見る

新図書館開館の軌跡

— 旧図書館からの移転 —



移転準備

作業は新配架場所の指示シール作成から始まった



指示シールの差込み作業

極寒の2月、書庫内での作業が連日続く



順序よく箱詰めされていく図書資料

箱詰め、搬送、再配架までチーム単位で作業が進む



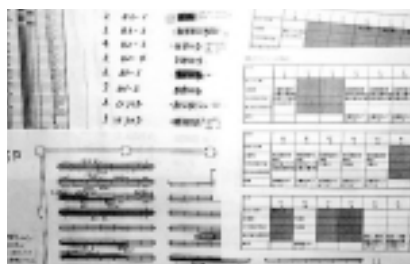
旧閲覧室に積みあがるダンボールの山

図書館・文学部研究室他に設置していた洋装本約40万冊の移設は実質1ヶ月で終了した



学外施設の資料も搬入

学内外何ヶ所にも散在した資料がようやく一ヶ所に集まる



新図書館移転計画書

綿密な作業計画書の作成と実施が短期間移転のキーとなった

新図書館開館の軌跡

－ 新図書館始動 －



新図書館が入る真宗総合学術センター 響流館
総合研究室、博物館、真宗総合研究所、メディアホールなどと有機的に連携する



図書館エントランス
2002年4月5日に開館した新図書館は平日1日平均約1,000人の入館者を記録している



1Fカウンター付近
貸出返却、レファレンス、入庫手続きなどカウンター付近は利用者が絶えない



図書自動貸出機 ABC
閲覧室に設置されたABCにより利用者は各自で貸出手続きができる



図書資料の探索
開架書庫では利用者が図書を手にとって探索することができる



2F閲覧室風景
閲覧室には検索端末の他、パソコンを接続する情報コンセントを設置した閲覧机もある